

2023年度

実務家教員等育成のための 研修講師 養成プログラム

オンライン
プログラム

産学の連携により、学生がインターンシップで実社会を経験しながら、社会と結合した大学での学びに注力することが卒業後の活躍につながる社会、リカレント教育など社会人となっても学び続け、チャレンジし続ける時代がようやく到来するか、重大な岐路を迎えています。このような中で教育・雇用一体改革を軌道に乗せることに貢献すべく、学びと社会をつなぐことにより、学生の大学教育への動機付けを高めるとともに、社会人をリカレント教育へ惹き付けることを目指し、実務家教員の育成に関する取組がなされ始めています。

産学が連携して人材と知の循環を促進しつつ、実践的かつ広く

深い学びを追求し、学生も社会人も学び続けチャレンジし続ける社会の実現と、未来を拓く人材の各界への輩出のため、その中心的役割を担う実務家教員の養成及びその持続的な育成・活用システムの構築は重要な課題です。

そこで、本プログラムは、実務家教員を含む大学教員のための研修講師を養成するため、実際の研修プログラムの参与観察に加え、研修の開発・実施側の視点に立った考察の機会や議論の場を提供することにより、将来、実務家教員を含む大学教員のための研修ファカルティ・ディベロップメント(FD)の開発・実施に関する実践的知見を持つ人材の育成を目指します。

プログラムの達成目標

本プログラム受講者は、次のことができるようになることを目指します。

高等教育機関における
実務家教員の養成に関する政策や
動向について説明できる

実務家教員志望者の
特性やニーズを
説明することができる

実務家教員養成の課題を
発見し、その対応策を含む
養成プログラムを提案できる

プログラムの内容

現在の実務家教員の多様な在り方に鑑み、実務家教員を含む大学教員に共通に必要なとされる教育実践力(汎用的な専門性)を高めるカリキュラムを持つ履修証明プログラム「産学連携教育イノベーター育成プログラム(AIBET)」を活用し、実務家教員を含む大学教員のための研修を担う講師を養成します。本プログラムでは、上記目標を達成するために、受講者は次の活動に取り組みます。

受講者が取り組む3つの活動

1 動画視聴による学習と ディスカッション

実務家教員を取り巻く政策や課題について講演動画等により学習、プログラム講師とのQ&Aを実施



実務家教員養成に関する理解

2 AIBETの 聴講と参与観察

AIBET LAコースの聴講や演習への陪席、受講者の学びの様子などを観察し考察を深める



プログラムと受講生に関する理解

3 レポート作成

実務家教員養成を取り巻く状況、課題、それらに対する対応等を含むレポートを成果物として作成



実務家教員養成の課題と対応策の提案

① 文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」及び同事業における実務家教員育成研修プログラムの一つであるAIBET並びに関連政策の動向に関する理解とディスカッション

② 研修実施側の視点に立ったAIBETの参与観察的受講

③ 実務家教員養成における課題と対応策等に関するレポートの提出

※本プログラムは、文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」の一環として提供されます。

応募資格

下記の①もしくは②のいずれかに該当する者。

①文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」において実施される実務家教員研修プログラム修了者^{*}で、大学等での授業実施経験のある者(常勤・非常勤等は問わない)

※該当プログラム:産学連携教育イノベーター育成プログラム(提供校:東北大学他)、進化型実務家教員養成プログラム(提供校:名古屋市立大学他)、実務家教員養成課程(提供校:社会構想大学院大学他)、実務家教員育成研修プログラム(提供校:舞鶴工業高等専門学校他)

②高等教育機関における教員研修(FD)担当者・担当候補者

定員

5名程度

費用

無料

応募方法

1 応募期間 2023年6月1日(木)~20日(火)

2 応募書類 文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」ウェブサイトへアクセスし、応募フォーム(Google Form)へ必要事項を記載の上、提出すること。

詳しくはこちら
<https://jitsumuka.jp/>



3 推薦者 応募資格②の方は、所属機関の上長より推薦が必要となります。上長に確認の上、応募フォームに推薦者名・連絡先を記載してください。状況に応じて、事務局より推薦者へ連絡させていただきます。

結果通知

書類選考の上、メールにて結果をお知らせします。▶ 2023年6月下旬頃

2023年度スケジュール

本プログラムは全てオンラインにて実施します。

研修項目	受講方法	所要時間	日程
1 本事業・本プログラムに関する説明、講演動画の視聴	オンデマンド	1時間	7月上旬
2 AIBET全体オリエンテーションの聴講	オンデマンド	1時間	8月10日~23日の間
3 講師養成プログラムオリエンテーション・Q&Aセッション	オンライン(同期)Zoom meeting	1時間	8月26日(土)10:00~11:00
4 AIBET大学教育基礎力科目の聴講・受講者掲示板の観察	オンデマンド	3時間	8月27日~10月4日の間
5 講師養成プログラム・ピアディスカッション① ^{※4}	オンライン(同期)Zoom meeting	1時間	10月7日(土)10:00~11:00
6 AIBET汎用的教育実践力科目「研究指導演習」の聴講 ^{※1}	オンライン(同期)Zoom meeting	2時間	10月15日(日)13:30~15:30 ^{※2}
7 講師養成プログラム・ピアディスカッション② ^{※4}	オンライン(同期)Zoom meeting	1.5時間	11月3日(金・祝)10:00~11:30
8 AIBET専門領域別科目LAコース学習項目3「産学連携教育論」・4「教育質保証論」の聴講 ^{※3}	オンデマンド	1時間	11月1日~11月30日の間
9 AIBET専門領域別科目LAコース学習項目6演習の聴講	オンライン(同期)Zoom meeting	3時間	12月16日(土)・17日(日)のいずれか半日
10 講師養成プログラム・ピアディスカッション③ ^{※4}	オンライン(同期)Zoom meeting	1.5時間	12月23日(土)10:00~11:30
11 AIBET教育イノベーター実践演習科目 成果発表会の聴講	オンライン(同期)Zoom meeting	3時間	1月21日(日)・28日(日)のいずれか半日
12 AIBET講師とのディスカッション	オンライン(同期)Zoom meeting	1.5時間	2月23日(金祝)10:00~11:30
13 レポート提出	Moodleへ提出	1時間	3月6日(水)23:59まで

所要時間合計 20~21.5時間

※1:AIBET汎用的教育実践力科目「授業デザインとシラバス作成」及び「ID演習」の収録動画は任意視聴可 ※2:10月15日(日)の参加が難しい場合は、10月28日(土)に振替可

※3:AIBET専門領域別科目(LAコース)「リベラルアーツ教育論」及び「STEM・文理融合教育論」の動画は任意視聴可 ※4:ピアディスカッション3回のうち、少なくとも2回参加必須

修了要件

開講期間内に本プログラムの20時間以上の課程を全て受講すること。修了した際には、修了証を発行します。

問い合わせ先

文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」運営拠点

代表校(事務局):東北大学 高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センター

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内41 Tel:022-795-4472・4473 Email:innovator.jitsumuka@grp.tohoku.ac.jp